



倉田小だより 12月号



横浜市立倉田小学校

～つながり いきいき 倉田っ子～



「やさしさ」について

～人権週間に寄せて～

校長 末松 隆一郎

つもった雪

上の雪

さむかろうな。

つめたい月がさしていて。

下の雪

重かろうな。

何百人ものせていて。

中の雪

さみしかろうな。

空も地面(じべた)もみえないで。

金子 みすゞ

秋の深まりとともに粧(よそお)う木々と次第に華やかさを増す街のイルミネーション。年の瀬に向かう慌ただしさが、冷たい風と舞う落ち葉の中で行き交う頃となりました。

11月25日(土)のOSK②には、多数の保護者の皆様はじめ、学校運営協議会委員の皆様、地域・他校の方々にもご来校・ご参観いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。また、当日は4校時に、4年ぶりとなる豊田中学校吹奏楽部の演奏も聴くことができました。素敵な演奏と子供たちの喜ぶ姿、本当に素晴らしい時間を過ごすことができ、心から嬉しく思います。

倉田小学校では、12月4日から12月10日までの期間を「人権週間」とし、学校教育「つながり いきいき 倉田っ子」の具現化と、本校人権目標「自尊感情を高め、自他の大切さを認め合い、よりよい人間関係を築いていこうとする子どもの育成を図る」の達成、いじめ撲滅に向けて子供たちが主体的に行動できる姿を目指して、授業や様々な活動を通して取り組んでいきます。11月27日の人権朝会では、図書館司書の白木先生による「そらをとびたかったペンギン」の読み聞かせも行いました。今後は、いじめをテーマにした映像視聴やクラスでの話し合いを通し、標語づくり等、人権意識を高める活動を展開していきます。各クラスで作った標語は、個人面談期間中2階ミニ美に掲示されていますので、ぜひご覧ください。

冒頭の詩は金子みすゞさんの詩の中で私が一番好きな詩です。倉田の子供たちには、いろいろなことはあるけれど、もっともっとやさしい人になってほしい、もっともっと相手の気持ちに心を寄せられる人になってほしい、そんな思いから掲載させていただきました。

見えないものに心を寄せられる人、人の喜びや幸せに笑顔になれる人、人の悲しみや痛みで涙できる人・・・、そんな「やさしさ」をもった人として更に成長できるよう、人権週間、日々の様々な学習や取組を通して、子供たちとともに歩んでいきたいと思います。